You, Unlimited

Ryukoku University

REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

No.175 発行日：2022年7月25日

ご報告 第 7 回滋賀テックプラングランプリで農学部植物生命科学科 塩尻 かおり教授が「最優秀賞」と「SHIGA（滋賀）賞」をダブル受賞されました！！



7 月 9 日(土)大津プリンスホテルで開催された、滋賀発成長産業発掘・育成コンソーシアムが主催する第 7 回滋賀テックプラングランプリで、農学部植物生命科学科 塩尻 教授が「最優秀賞」と「SHIGA（滋賀）賞」をダブル受賞しました。

滋賀県内の理工系大学や第二創業を目指す企業から応募があり、書類選考を通過したファイナリスト 9 チームが最終選考に進みました。チーム「植物の能力を甘く見るな！」（塩尻先生）は、「匂いを介した植物間コミュニケーションを農業へ」というテーマで、“植物が被害を受けたときに出す匂いが、隣接する植物の防衛を高める（植物間コミュニケーション）という現象を農業に活用する”とプレゼンテーションした結果、最終審査でダブル受賞となりました。

お知らせ 「100 地点環境 DNA 調査『びわ湖の日チャレンジ！みんなで水を汲んでどんな魚がいるか調べよう！』」を 7 月から実施しています！



龍谷大学・滋賀県共催「びわ湖の日滋賀県提携　龍谷講座」に先立ち、生物多様性科学研究センター（センター長：山中 裕樹 先端理工学部准教授）が、「100 地点環境 DNA 調査『びわ湖の日チャレンジ！みんなで水を汲んでどんな魚がいるか調べよう！』」を 7 月から実施しています。

これは、滋賀県との共催によりスタートした年に 1 度の全県一斉調査で、市民参加による環境 DNA 分析を用いた観測としては、国内最大規模です。ほぼ等間隔に琵琶湖の湖岸線を 100 区画に区切り、一般市民や市民団体（自然観察クラブや環境保全団体）、地元企業の有志に参加してもらい、8 月に一斉調査を行う予定です。

この市民参加型の調査は、沖合ではなく岸辺だけに調査範囲が限られますが、魚類の分布調査をこれだけ多地点で毎年行うことは他の手法では困難であり、本調査データは科学的にも行政にとっても貴重なデータとなります。

調査結果は、10 月～12 月に計 3 回実施する「びわ湖の日滋賀県提携　龍谷講座」の 12 月開催日に報告します。

このような活動を通じて、引き続き、SDGs が掲げる海や陸などの環境保全に寄与する取組を進めていきます。

ご報告 京カレッジ「祇園祭と京都 -祇園祭を多角的に検証する-」全講義が終了しました！！

大学コンソーシアム京都では、高度化・多様化する社会人の学習ニーズに応える生涯学習事業として、参画大学・短期大学等による特色ある授業科目や公開講座を提供しています。龍谷大学では、これまで市民教養講座「京都力養成コース」に、祇園祭に関する講座を提供してきました。



新型コロナウイルス感染症の影響により、2021 年度はオンラインでの開講を余儀なくされましたが、今年度は感染状況等を見据えながら、3 年ぶりに対面で開催しました。一般公募により集まった 20 名の受講生に対し、講師として聖護院門跡御門主宮城泰年先生を始め、青蓮院、神泉苑、八坂神社など祇園祭に所縁のある方々に講義をしていただきました。

全 6 回の最終回として、国際学部　泉先生によるフィールドワークが 7 月 14 日(木)に行われました。当日は時折小雨が降る中ではありましたが、参加者は祇園祭に関する解説に耳を傾けながら、鉾町を肌で感じておられるようでした。

ご報告　2022 年度第 1 回 REC BIZ-NET 研究会「“評価は開発の羅針盤”最新の原子レベルの計測技術とその応用例」を開催しました！！

6 月 22 日(水)、2022 年度第 1 回 REC BIZ-NET 研究会「“評価は開発の羅針盤”最新の原子レベルの計測技術とその応用例」をオンラインにて開催しました（ライブ配信）。

今回の BIZ-NET 研究会は、原子間力顕微鏡や走査プローブ顕微鏡による原子レベルの計測技術の研究を進めている龍谷大学の教員と、半導体や燃料電池をはじめナノマテリアル材料などの原子レベルの分析を行っている企業による講演でした。

先端理工学部電子情報通信課程 宮戸 祐治 准教授は、「原子間力顕微鏡の基礎とその最新展開」と題し、原理から材料解析への応用例と、最新の研究事例として水和状態の解析について説明されました。

続いて、東芝ナノアナリシス株式会社 評価解析技術センター 半導体評価試験ラボ 主務博士（工学）の鈴木 一博 氏には、「非破壊イメージング装置を用いた観察事例の紹介」と題し、三次元 X 線顕微鏡や磁場顕微鏡を用いた観察事例を複数ご紹介いただきました。

講演の最後には、宮戸先生、鈴木氏がチャット機能を利用し、視聴者からの質問・感想に回答、対応されました。

今後も REC では、BIZ-NET 研究会の開催を通し、様々な研究シーズの紹介や広報、各種企業・団体様との産官学連携の創出を推進していきます。


宮戸 祐治 准教授



鈴木 一博 氏

ご報告　地域連携イベント「とっとりの集い」を開催しました！！





7 月 5 日(火)夕方から、龍谷大学が包括連携協定を結んでいる鳥取県と、地域連携イベント「とっとりの集い」を深草キャンパス和顔館アクティビティホールで開催しました。

当日は、鳥取県出身学生や鳥取県に興味を持つ学生や職員が参加し、宇宙エンターテイメント事業を手掛ける株式会社 amulapo 代表取締役 CEO 田中 克明 氏による「2050 年の未来を創ろう～鳥取県で始まる宇宙開発と宇宙ビジネス～」と題した講演を聴講しました。また、同社が手掛ける AR(拡張現実:Augmented Reality)月面探査プロジェクトを体験する時間も設けられ、当日は参加者が専用のゴーグルを着用し、月面都市の風景を驚きと共に体感しました。

後半は、参加学生が３つのグループに分かれ、鳥取県関西本部スタッフによる進行のもと、鳥取県の新しいエンターテイメント事業や観光資源などについて話し合う時間がもたれました。参加者間の活発な意見交換後、各グループからまとめたアイディアが全体で発表されました。

対面での開催は 2019 年度以降、3 年ぶりに実現しました。当日は生憎の空模様でしたが、直前の呼び込みで参加する学生もあり、講師の熱意溢れる講演や、学年・学部を越えた参加学生間のディスカッションなど、対面で開催することの魅力を改めて感じる時間となりました。　amulapo（アミュラポ）｜ わくわくは、宙（そら）にある。 (amulapo-inc.com)

お知らせ　８月・９月の REC の活動

●８月１日(月)より「龍谷オンライン講座」2022 年度第 5 期 申込開始
◇京七宝と世界の七宝－紀元前に生まれた七宝－　　野村 ひろみ（有限会社ヒロミ・アート 代表取締役）
その他再配信を含めて、11 講座の申込を開始します。
●８月８日(月)～９日(火)　「夏休み子ども理科実験・工作教室」開催
●９月２日(金)　第 2 回 BIZ-NET web 研究会「育種の可能性を切り拓く-ゲノム解析・データサイエンス技術を駆使して-」
1.「品種改良のための DNA マーカー開発」　滝澤 理仁　（龍谷大学農学部資源生物科学科講師）
2.「品種改良を加速するデータサイエンス」　小野木 章雄（龍谷大学農学部植物生命科学科准教授）

RYUKOKU UNIVERSITY
Ryukoku University
REC News Letter
No.175
REC News Letter は毎月発行。次回は 9 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは下記よりご覧ください。
https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/news_letter-3/
編集・発行：REC 事務部
https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/
・REC 滋賀　REC ホール（内線 7744）
・REC 京都　4 号館 2 階（内線 1193）